

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月2日（火）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアDD（図1）
- ・遠隔操作室

3 確認項目

- （1）瓦礫類一時保管エリアDDの状況
- （2）2号機燃料取り出し作業の状況

4 確認結果の概要

（1）瓦礫類一時保管エリアDDの状況

東京電力では、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指し、各一時保管エリアでは分別や破碎、コンテナへの詰め替えなどの作業を実施しており、県では、その作業状況等を確認している。

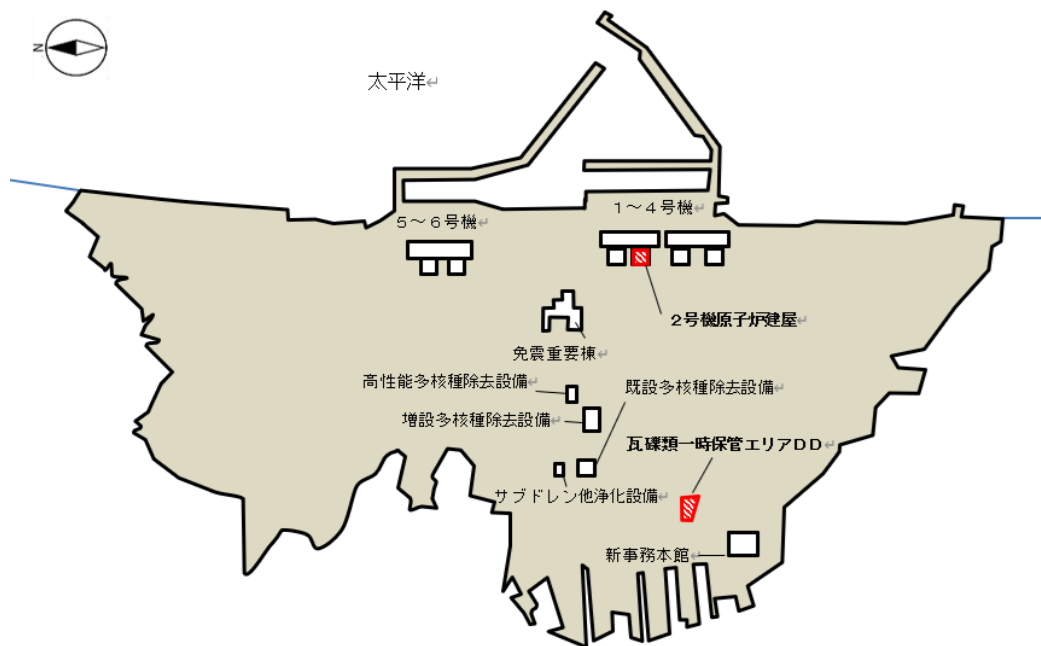
今回、瓦礫類一時保管エリアDDの作業状況を確認した。（前回確認：[令和7年8月1日](#)）

- ・現地確認時において、エリア東側では、フレキシブルコンテナに収納されている廃棄物について、可燃物、不燃物、熔融対象金属等の種類ごとに分別し、コンテナへ収納する作業が実施されていた。（写真1）
- ・また、エリア西側では、瓦礫類一時保管エリアNで使用していたノッチタンクを裁断し、コンテナへ収納する作業が実施されていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、コンテナ等に破損は認められず、内容物の飛散・流出等の異常も確認されなかった。

（2）2号機燃料取り出し作業の状況

東京電力では、2号機使用済燃料プールに貯蔵されている615体の燃料について、令和10年度までに取り出し作業を完了することを目標とし、本日（6月2日）から燃料の取り出し作業を開始したことから、今回、遠隔操作室より作業状況を確認した。

- ・現場確認時において、2号機使用済燃料プール内の燃料ラックから燃料を引き抜き、輸送用容器（キャスク）へ収納する作業が行われていた。作業は関係者間で緊密に連携を取りながら、予め定められた手順に従って確実に進められていた。（写真3）
- ・なお、東京電力の計画では、取り出した燃料は、より安定的に冷却可能な共用プールへ搬出することとしている。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1) エリアDD東側における作業状況① (全景)



(写真 1－2) エリアDD東側における作業状況② (廃棄物の分別)



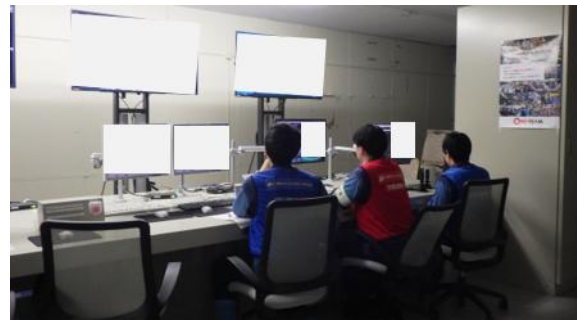
(写真 2－1) エリアDD西側における作業状況① (ノッチタンク裁断①)



(写真 2－2) エリアDD西側における作業状況② (ノッチタンク裁断②)



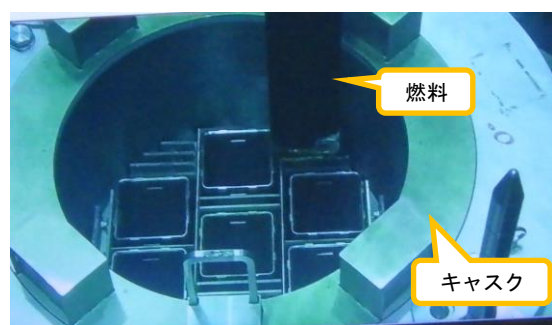
(写真 2－3) エリア D D 西側に搬入された解体予定のノッチタンク群



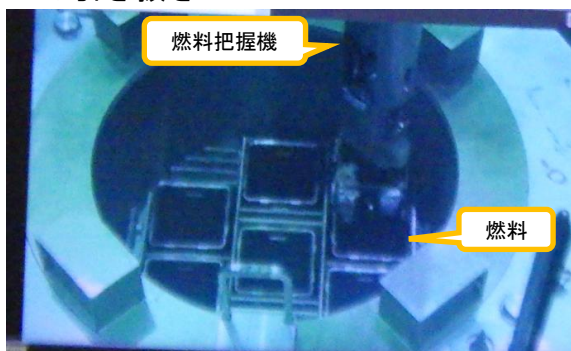
(写真 3－1) 遠隔操作室での作業



(写真 3－2) 燃料ラックからの燃料の引き抜き



(写真 3－3) 燃料のキャスクへの収納



(写真 3－4) 燃料がキャスクへ収納された状態

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。